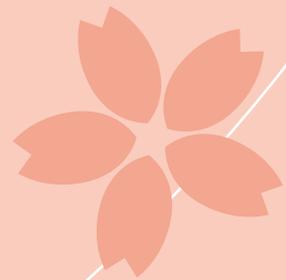
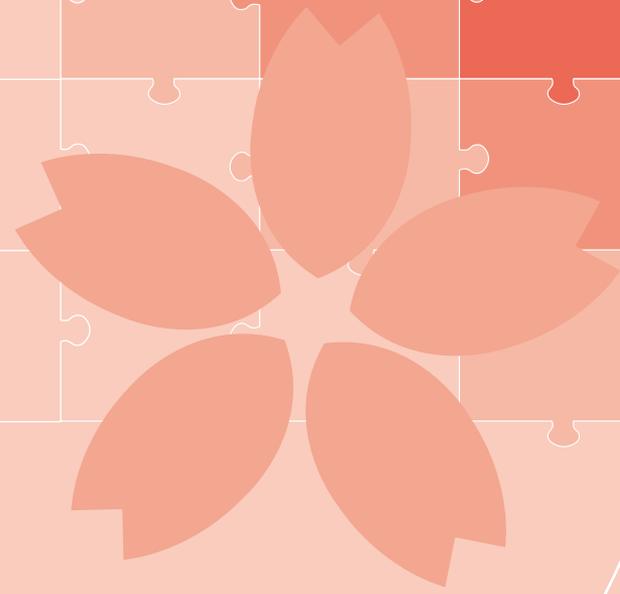
A background of a grid of puzzle pieces in various shades of red and orange. The pieces are arranged in a grid pattern, with some pieces missing, creating a sense of a puzzle being solved or in progress.

# 用語解説



区分	言葉	意味
ア 行	アオ 青パトカー	行政が所持する防犯パトロールに使用する自動車へ青色回転灯を装備し、町内一円を防犯パトロールする車両。
	アンゼンアンシン ジョウレイ 安全安心まちづくり条例	安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けて、地域における防犯活動をより一層充実し、発展させるとともに、防犯に配慮した環境づくりを推進するため、その根拠となる条例。
	アンゼンアンシン スイシンキョウギカイ 安全安心まちづくり推進協議会	町及び関係機関等の緊密な連携を保つため、町民等の安全確保、意識の高揚及び自主的な安全安心まちづくり活動の推進を図るための団体。
	イケンバコ 意見箱	町民が暮らしの中で感じた町政に対するご意見やご提案、ご質問を役場庁舎、ふれあいセンター、シーメイトなどに設置した意見箱とホームページで受け付ける電子意見箱。
	イッパンシュウロウ 一般就労	一般の仕事につくこと。障害者就労に関する行政用語。
	イリョウキョウフ ヒ 医療給付費	1年間に医療保険で使われた医療費の総額である「国民医療費」から、患者負担を除いた医療費のこと。
	イリョウホケンセイド 医療保険制度	加入者やその家族など（被扶養者）が、医療の必要な状態になったときに、公的機関などが医療費の一部負担をしてくれるという制度。加入者が収入に応じて保険料を出し合い、そこから医療費を支出するという仕組み。
	ウミシメ 宇美志免リサイクルセンター エコル	宇美町と志免町の不燃ごみ（陶器ガラス、カン、ビン、金属、ペットボトル、プラスチック製容器包装類）を搬入し選別・リサイクルをする施設。
	エコロジー	生態学。自然環境保護運動。人間も生態系の一員であるとの視点から、人間生活と自然との調和・共存を目指す考え方。
	N P O (ヒエイリ ソシキ) (非営利組織)	ボランティア団体をはじめとする営利を目的としない、自発的・自立的な社会貢献活動を行う住民活動団体。法人格の有無は問わない。
	ソウ オゾン層	地表から約10～50km上空にあり、太陽光のうち有害な紫外線の大半を吸収している。オゾン層がなければ、有害な紫外線がそのまま地上に降り注ぎ、生物は生存することができないため、オゾン層は「地球の宇宙服」と呼ばれている。このオゾン層がフロン等の物質により破壊されており、人の健康や生態系などに悪影響が生じるおそれがある。
	オージェーティ O J T (オンザジョブトレーニング)	職場での実務を通じて行う従業員の教育訓練。

区分	言葉	意味
力行	カイカクカイゼン 改革改善を行った事務事業	前年度末に何らかの改善案が示された事務事業の内、実際に改善が行われた事務事業のこと。
	カイゴホケンセイド 介護保険制度	40歳以上の人全員を被保険者（保険加入者）とした、市町村（特別区を含む）が運営する、強制加入の公的社会保険制度。
	カイゴホケンヨウカイゴニンテイ 介護保険要介護認定	日常生活を送る上でどれくらい介護や支援を必要とするかを判定するための基準になり、介護保険を受けるためには必須の条件になる。
	カイゴヨボウ 介護予防	元気な高齢者になるべく要介護状態にならないように、そして介護が必要な人もそれ以上悪化させないようにする取り組み。
	カクカソクカ 核家族化	ひと組の夫婦とその未婚の子どもからなる家族。家族の基本単位とされる。
	カサヤチュウナンブ チョウ 糟屋中南部6町	志免町・宇美町・須恵町・粕屋町・篠栗町・久山町の糟屋中南部地域6町。
	ガツキュウホジョイン 学級補助員	学級担当教諭の業務の補助を行う要員。
	ガツコウキョウイクホウ 学校教育法	教育基本法に基づいて、学校制度の基本を定めた法律。
	カテイセイカツシエンインハケンセイド 家庭生活支援員派遣制度	母子家庭、寡婦及び父子家庭が、修学等の自立促進に必要な事由や疾病等の社会的事由により、一時的に生活援助、保育サービスが必要な場合、若しくは生活環境等が激変し、日常生活を営むのに支障が生じている場合に、必要な援助、保育等を行う家庭生活支援員を派遣する制度。
	カデン 家電リサイクル法	廃棄物を減らし資源の有効利用を促すため、廃棄される家電製品のリサイクル（再生利用・再商品化）について定めた法律。
	カンキョウカケイボ 環境家計簿	毎月の電気、水道、ガスなどの使用量を記入することで、地球温暖化の原因とされるCO2排出量を簡単に推計できるようにしたもの。身近なところからCO2排出量を減らすエコライフを行い、電気等の使用量を毎月環境家計簿に記入していくことで、その効果（CO2削減量、年間節約額）を知ることができる。
	キコウカイカク 機構改革	組織をより良く機能するものに再編成すること。
	キセイカンワ 規制緩和	自由な経済活動を活性化するために、政府や自治体などが民間の経済活動に定めている許可・確認・検査・届出などの規制を緩和ないし廃止すること。
ギャクタイボウシチュウウナイレンラクカイギ 虐待防止庁内連絡会議	児童虐待の防止、早期発見及び早期対応並びに家庭への支援を総合的に推進するため、関係機関の担当者で構成する実務者会議。	

区分	言葉	意味
力行	<small>キョウ シ メ コウキョウジョ タテコウヤグラ</small> 旧志免鉱業所竪坑槽	地上47.65m（基準点からは53.65m）、鉄筋コンクリート造のワイディングタワー形をしている。昭和18年に槽が完成し、塔内には1,000馬力のケーベ巻上機が備わり、地下430mまで鉱夫や石炭、資材の搬出入を行っていた。この時代の同タイプのものは、日本で志免町だけであり、世界でもベルギーブレニー炭鉱・中国撫順龍鳳採炭所にしか所在が確認されていない。平成21年12月8日に国の重要文化財に指定された。
	<small>キョウイク キ ホンホウ</small> 教育基本法	日本国憲法の精神に基づき、日本の教育の基本的なあり方を明示した法律。
	<small>キョウイクシヨクイン メンキョホウ</small> 教育職員免許法	教員の免許に関する基準を定め、教員の資質の保持と向上を図ることを目的とする法律。
	<small>キョウイク ソウダンイン</small> 教育相談員	児童・生徒が直面する教育上のさまざまな問題や障害について、本人や親・教師などに対して行われる専門的立場からの助言や指導を行う相談員。
	<small>キョウザイセいかいかク</small> 行財政改革	「最少の経費で最大の効果をあげる」という地方自治運営の基本原則に立ち返り、行財政運営の効率化や地方分権に対応する行政の実現を図るための行政全般にわたる改革。
	<small>キョウセイケイエイ</small> 行政経営	今までの行政運営を「管理」から「経営」に転換し、民間の優れた経営理念や経営手法を積極的に取り入れながら、町民の満足度が向上するよう、町民の視点に立ち、成果を重視した行政活動を展開していくこと。
	<small>キョウセイヒョウカ</small> 行政評価システム	町が行っている仕事やサービス内容などを継続的に見直し、改善につなげる仕組み。
	<small>キョウドウ</small> 協働	同じ目的のために、対等の立場で協力して共に働くこと。
	<small>キョウドウ シンシン</small> 協働のまちづくり指針	志免町の協働を進めるにあたっての基本理念を定めるとともに協働の進め方や広め方、実効性を高める取組みなど基本的な考え方をまとめたもの。
	<small>クニ ジュウヨウブンカザイ</small> 国の重要文化財	日本にある有形文化財のうち、特に重要とみなされたもの。
	<small>ケイジョウケイヒ</small> 経常経費	人件費（職員の給料など）、扶助費（生活保護など社会的に弱い立場にある人への現金給付など）、公債費など毎年常に支出しなければならない経費。
	<small>ケイジョウシュウシヒリツ</small> 経常収支比率	毎年常に支出しなければならない経費に使われている一般財源が、自由に使える一般財源の総額と比較してどの程度の割合を占めているかを表した指標。
	<small>ケンゲンイジョウ</small> 権限移譲	地域のことや普段の生活に密着することを国、県が決めるのではなく、住民に身近で、地域の事情をよく知っている町が決めることができるようにすること。
<small>コウイキレンゴウ</small> 広域連合	地方自治法の特別地方公共団体として、複数の自治体にまたがる広域的な行政事務を処理するために設けることができる行政機構。	

区分	言葉	意味
カ行	コウキ コウレイシャイリョウ ホケン 後期高齢者医療保険	日本国内に住む75歳以上の後期高齢者全員と前期高齢者（65～74歳）で障害のある者を対象とする、他の健康保険とは独立した日本の医療保険制度。
	コウキョウ 公共インフラ	社会的経済基盤と社会的生産基盤とを形成するものの総称。道路・港湾・河川・鉄道・通信情報施設・下水道・学校・病院・公園・公営住宅などが含まれる。
	ゴウケイトクシヨジュッショウリツ 合計特殊出生率	15～49歳の女性の年齢別出生率を合計した指標。一人の女性が平均して一生の間に何人の子どもを生むかを表す。
	コウツウアンセンキョウカイ 交通安全協会	警察庁所管の特例民法法人（特例財団法人）であり、全国法人である全日本交通安全協会を中心に都道府県単位及び警察署単位で設置されている。
	コウツウ ジ コトウケイ 交通事故統計	状態別、年齢別、道路別の交通事故発生状況等の統計データ。
	コウレイカ 高齢化	65歳以上の老年人口が増大した社会のこと。
	コウレイカ リツ 高齢化率	65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合。
	コウレイシャコウシュウ 高齢者講習	高齢ドライバーによる交通事故が増加の傾向のため、免許証の更新時に適性検査、運転技能等をチェックする講習。
	コクミンケンコウ ホケン ジギョウ 国民健康保険事業	会社などの各種健康保険に加入されていない人が不意の病気やけがをしたとき、治療費などの経済的な負担を少しでも軽くするため、日頃健康なときから加入者みんなで保険料を出し合い、必要な医療費にあてようという助け合いの制度。
	コクミンケンコウ ホケン セイ 国民健康保険税	会社などの各種健康保険に加入されていない人が不意の病気やけがをしたとき、治療費などの経済的な負担を少しでも軽くするため、日頃健康なときから加入者みんなで保険料を出し合い、必要な医療費にあてようという助け合いの制度。被保険者の属する世帯の世帯主に対し課する税金。
	コクミン ホ ゴホウ 国民保護法	日本が他国から攻撃を受けた場合、国民を戦場から避難させたり、救援するための手続を定めた法律。
	コジンジョウホウ ホゴ 個人情報保護	個人情報の有用性に配慮しながら、個人の権利利益を保護すること。
	コ シセツ カンケイシャ 子ども施設関係者	児童福祉法に規定する児童福祉施設、学校教育法に規定する学校、その他の子どもが利用する施設のこと。
	ネンリョウカ シセツ ごみ燃料化（RDF）施設クリーンパーク わかすぎ	須恵町外二町清掃施設組合が篠栗町に建設したごみ固形化燃料（RDF）施設で、志免町の可燃ごみを固形化し、処理している。
コミュニティ	居住地域を同じくし、利害をともにする共同体。町村・都市・地方など、生産・自治・風俗・習慣などで深い結びつきをもつ共同体。地域社会。	

区分	言葉	意味
サ 行	サイガイズジョウケンレン 災害図上訓練	地図を用いて地域で大きな災害が発生する事態を想定し、地図と地図の上にかける透明シート、ペンを用いて、危険が予測される地帯または事態をシートの上書き込んでいく訓練のこと。
	ザイセイケンゼン カホウ 財政健全化法	地方公共団体の財政の健全化のために、健全性に関する比率を公表し、健全化の計画を策定する制度を定める日本の法律。
	ザイセイチョウセイキキン 財政調整基金	年度間の財源不足に対応するため、決算剰余金などを積み立て、財源が不足する年度に活用する目的の基金。
	3R	リデュース (reduce 廃棄物の発生抑制)、 リユース (reuse 再使用)、 リサイクル (recycle 再生利用、再資源化) の頭文字をとった言葉。環境にできるだけ負荷をかけない循環型社会を形成するための重要な標語であり、考え方である。資源の有効利用、環境保全の施策の基本となっている。
	サンカク 参画	単に参加するというだけでなく、方針の立案や決定などの意思決定への参加を意味する。
	シガイカクイキ 市街化区域	都市計画法に定める都市計画区域のうち、すでに市街地を形成している区域および今後優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。
	シガイカチョウセイクイキ 市街化調整区域	都市計画法に定める都市計画区域のうち、市街化が抑制される区域。
	シサクヒョウカ 施策評価	まちづくりの基本理念やビジョンを達成するための政策課題として設定した基礎単位である施策に目標を設定して、その達成度を評価するもの。
	シサクベツソウワクハイブン ヨサンヘンセイ 施策別総枠配分予算編成	基本計画で掲げた施策毎に予算額を設定し、その額の範囲内で施策に結びつく事務事業へ予算を配分していく予算編成方式のこと。
	ジジョ 自助グループ	同じ問題を抱える者同士が集まって意見を交換し、互いに援助しあう集団およびその活動。
	ジセダイイクセイシエン 次世代育成支援	次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ育成される環境の整備を図ること。
	ジセダイイクセイシエン コウキコウドウケイカク 次世代育成支援後期行動計画	平成16年度に策定した「志免町次世代育成支援行動計画」について、平成21年度に見直しを行い、平成26年度までの「後期計画」を策定。本町に住む人が子どもを安心して生み育て、子ども自身が自らが持つ力を伸ばし、その子育てを支える地域となることで、町全体が「未来の担い手と共に育つまち」となることを目指す計画。
	シゼンカンキョウホゴ カツドウ 自然環境保護活動	自然が持つ本来の姿とその多様性を保護するための活動。
ジッシツコウサイヒ ヒリツ 実質公債費比率	自治体の実質的な借金が財政規模に占める割合のこと。数値が高いほど返済の負担が重いことを示す。	

区分	言葉	意味
サ 行	ジム ジギョウヒョウカ 事務事業評価	町が行う事務事業について、事業の必要性や目的を明確化し、事業の活動に対して得られる成果などを指標による客観的数値を用いながら分析・評価を行い、その結果を踏まえ今後の事務事業の方向性を検討し、業務改善や事務事業の再編・整理に反映させようとするもの。
	シ メマチギョウザイセイサイコウチク 志免町行政再構築プラン	行政を効率化し、限られた資源を最大限活用する行政の仕組みを実現するシステムを構築するためのプラン。
	シ メマチキョウドウスイシンジツコウケイカク 志免町協働推進実行計画	平成20年6月に策定された志免町の協働を進めるための計画書。
	シ メマチコウレイシャフクシケイカク 志免町高齢者福祉計画	高齢者の心身の健康づくりとともに、元気で活躍できる環境づくりをより一層進めていくための3か年の事業計画。
	シ メマチコウレイシャミマモ トウ レンラクカイ 志免町高齢者見守り等ネットワーク連絡会	高齢者が住み慣れた地域で安心した生活を確保できるようにするために、高齢者の見守り等を行政及び地域等が一体となって実施する組織。
	シ メマチコ ケンリジョウレイ 志免町子どもの権利条例	「子どもの権利条約」をもとにして、子どもの誰もが権利を認められ、いきいきと幸せに暮らせるように、志免町が制定した条例。
	シ メマチジンザイクセイキホンホウシン 志免町人材育成基本方針	職員の計画的、総合的な育成を目指し、平成19年11月に策定した人材育成基本方針。
	シ メマチダイ キシヨウガイフクシケイカク 志免町第2期障害福祉計画	障害者自立支援法第88条に基づく「市町村障害福祉計画」として、第1期計画で設定した平成23年度の目標に至る見直しとして位置付け、直近の現状を踏まえた適切な補正を行った上で、自立支援給付及び地域生活支援事業の見込量とその提供体制を定めた計画。
	シ メマチチイキボウサイケイカク 志免町地域防災計画	災害対策基本法（第40条）に基づき、防災のために処理すべき業務などを具体的に定めた計画。
	シ メマチチキョウオンダンカボウシケイカク 志免町地球温暖化防止計画	「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、平成19年2月に志免町が自ら行う事務・事業において排出される温室効果ガスを抑制し、地球温暖化の防止を図り、持続可能な経済社会の構築に寄与することを目的に策定された計画。
	シ メマチトシケイカク 志免町都市計画マスタープラン	「市町村の都市計画に関する基本的な方針」で平成21年4月から目標年次をおおむね20年先を見通して策定した計画。
	シャカイフクシキョウギカイ 社会福祉協議会	社会福祉事業法に基づき、地域の福祉向上を目的として、住民と福祉関係機関・団体により構成された民間福祉団体。
	シャカイフクシホウジン 社会福祉法人	社会福祉法の規定により、社会福祉事業を行うことを目的として設立された公益法人。都道府県知事や厚生労働大臣の認可を受け、設立の登記をすることによって成立する。
	シャカイホシヨウヒ 社会保障費	病気・けが・出産・障害・死亡・加齢・失業などの生活上の問題について貧困を予防し、貧困者を救い、生活を安定させるために国家または社会が所得移転によって所得を保障し、医療や介護などの社会サービスを給付する費用のこと。

区分	言葉	意味
サ 行	シュウロウイコウ シエン シキョウシャ 就労移行支援事業者	就労を希望する障害のある方が企業に就職し、働き続けることができるよう支援を行う事業者。
	ジュウミン サンカクジョウレイ 住民参画条例	住民と行政が互いの特性を活かしながら、協力しあって地域の問題を解決していくための原則や制度を作っていくための条例。
	ジュエキシャ フタン 受益者負担	特定の公共事業に必要な経費にあてるため、その事業によって特別の利益を受ける者に経費の一部を負担させること。
	ジュンカン ガタシャカイ 循環型社会	製品等が廃棄物となることが抑制され、並びに製品等が循環資源となった場合においては、これについて適正に循環的な利用が行われることが促進され、及び循環的な利用が行われない循環資源については適正な処分が確保され、もって天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会をいう。
	ショウ 省エネルギー	石油・電力・ガスなどのエネルギーを効率的に使用し、その消費量を節約すること。
	ショウガイ ガクシュウ 生涯学習	学習者の自由な意志に基づいて、それぞれにあった方法で生涯にわたって学習していくこと。
	ショウガイ シャシュウギョウ セイカツ シエン 障害者就業・生活支援センター	障害者の雇用を進める上では、就職や職場適応などの就業面の支援ばかりでなく、生活習慣の形成や日常生活の自己管理などに関する生活支援を、障害者の身近な地域で、一体的かつ総合的な支援を提供する機関。
	ショウガイ シャ ジリツ シエン キョウギカイ 障害者自立支援協議会	障害のある人が、障害のない人と暮らせる地域をつくるために、障害福祉に関する関係機関による連携及び支援に関する会議を行うための協議会。
	ショウガイ シャ ジリツ シエン ホウ 障害者自立支援法	障害者が地域で自立して生活できるよう支援事業を充実するための法律。
	ショウガイ シャ テチョウ 障害者手帳	障害者として公的に認定を受けると発行される手帳。
	ジョウホウ ツウシンギジュツ アイシーティ 情報通信技術（ICT）	情報（information）や通信（communication）に関する技術の総称。
	ショウライ フタン ヒリツ 将来負担比率	公社や第三セクターなども加えた連結ベースで、自治体が将来的に負担する可能性のある借金の総額が、自治体本体の1年間の収入と比べどれくらい多いかを示す。
	ショクイク 食育	食に関する教育。食料の生産方法やバランスのよい摂取方法、食品の選び方、食卓や食器などの食環境を整える方法、さらに食に関する文化など、広い視野から食について教育すること。
	ジリツ シエンキョウフ 自立支援給付	介護が必要な障害者へのサービス（介護給付）、訓練の必要な方へのサービス（訓練等給付）、指定相談支援等。

区分	言葉	意味
サ 行	シン 新エネルギー	石油に代わるエネルギーの導入を図るために特に必要なもの。バイオマス、太陽熱利用、雪氷熱利用、地熱発電、風力発電、太陽光発電などであり、すべて再生可能エネルギー。
	シンガクショウ シドウ ヨウリョウ 新学習指導要領	小・中・高等学校、特別支援学校を対象に教育課程、教科内容とその取り扱い、基本的指導事項などを示したもの。文部科学大臣が告示し、教科書編集の基準にもなる。指導要領。
	シントアイショウガイシャ チテキショウガイシャ 身体障害者、知的障害者デイサービス	身体や知的障害のある方々に対して、自立や社会参加の促進、生きがいのある生活が営めるよう支援するサービス。
	ジンジ ヒョウカ セイド 人事評価制度	職員の勤務態度や能力を評価するための制度。
	スイシツ オダク ボウシホウ 水質汚濁防止法	工場などから公共用水域に排出される汚水・廃液による水質汚濁の防止を図り、被害が生じた場合の事業者の損害賠償責任について定めている法律。
	スイシツキジュン 水質基準	水質について、水の使用目的ごとに決められた基準。
	セイクツショウカンビョウ 生活習慣病	偏った食事・運動不足・ストレス・喫煙・飲酒等の生活習慣が原因となっておこる病気。主な生活習慣病に、肥満・高血圧・高脂血症・糖尿病などが挙げられ、以前は成人病と呼ばれていたが、原因が日常生活に潜んでおり、中高年だけでなく子どもにも起こりうるためこのように呼ばれるようになった。
	ゼンコクガクリョク ガクショウジョウキョウチョウサ 全国学力・学習状況調査	2007年より日本全国の小中学校の最高学年（小学6年生、中学3年生）全員を対象として行われるテスト。
	ゼンコクタイリョク ウンドウノウリョク ウンドウショウカントウチョウサ 全国体力・運動能力、運動週間等調査	小中学生の体力の状況を把握・分析するために文部科学省が実施する調査。
ソウゴ フジヨ 相互扶助	互いに助け合うこと。また、地域社会などにおいて、メンバー内に社会生活上の問題を抱える者が生じた場合、メンバーの自発的協力・協同によって援助を行うこと。	
タ 行	ダイ ジ サンギョウ 第1次産業	原材料・食糧など最も基礎的な生産物の生産にかかわる産業。農・林・水産業など。
	ダイ ジ サンギョウ 第2次産業	第一次産業が採取・生産した原材料を加工して富を作り出す産業が分類される。製造業、建設業、電気・ガス業など。
	ダイ ジ サンギョウ 第3次産業	第一次産業にも第二次産業にも分類されない産業が分類される。小売業やサービス業などの無形財。
	ダイ 第3セクター	公企業、民間企業をそれぞれ第一・第二セクターと呼ぶことから、国や地方公共団体と民間の共同出資による事業体。地域開発・交通その他の分野で設立され、本来、国や地方公共団体が行うべき事業を、民間の資金と能力を導入して共同で行おうとするもの。

区分	言葉	意味
夕行	<small>タイキ オセン ボウシ ホウ</small> 大気汚染防止法	工場などから生じる煤煙（ばいじん）や自動車の排気ガスなどを規制し、大気汚染を防止するとともに、被害が発生した場合の事業者の損害賠償責任について定めている法律。
	<small>タイキ ジドウ</small> 待機児童	保育所への入所を希望しているが、施設の不足や保育希望時間の調整がつかないなどの理由により入所できないでいる児童。
	<small>ダンカイ セダイ</small> 団塊の世代	昭和22～24年（1947～49年）ごろの第一次ベビーブーム時代に生まれた世代。他世代に比較して人数が多いところからいう。
	<small>ダンジョ キョウドウサンカクシャカイ</small> 男女共同参画社会	男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会。
	<small>チイキ シュケン</small> 地域主権	国と地方自治体の関係を、国が地方に優越する上下の関係から、対等の立場で対話のできる新たなパートナーシップの関係へと根本的に転換し、地域のことは地域に住む住民が責任を持って決めることのできる活気に満ちた地域社会をつくっていくこと。
	<small>チイキ セイカツシエン ジギョウ</small> 地域生活支援事業	障害者を支援するために、すべての市町村で義務付けられている事業。（相談支援事業・コミュニケーション支援事業・日常生活用具給付等事業・移動支援事業・地域活動支援センター事業）
	<small>チイキ フクシ カツドウ</small> 地域福祉活動	誰もが住み慣れた家庭や地域で安心していきいきと暮していくために、地域の人たちや団体、ボランティア、福祉サービス提供者、行政などが連携し制度によるサービスを利用するだけでなく、地域での人と人とのつながりを大切に、お互いに助けられたり、助けたりする関係を築きながら『共に生き、共に支えあう社会』を実現しようとする事。
	<small>チイキ ミツチャクガタ</small> 地域密着型サービス	介護が必要になっても身近な住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう"認知症ケア"や"地域ケア"を推進する観点から、地域の特性に応じ、提供されるサービス。
	<small>チキョウ オンダンカ</small> 地球温暖化	<p>18世紀に始まった産業革命以降の化石燃料（石炭、石油など）の使用量の増大に伴い、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの大気中の濃度が増加を続け、これによって地球の平均気温が上昇している現象。</p> <p>地球の平均気温が過去100年間に0.4～0.8℃上昇し、とりわけ、1997年以降の気温の上昇が顕著で、このまま対策がなされれば、100年後には、1.4～5.8℃上昇すると予測されている。</p>
<small>チキョウ オンダンカ ボウシ チュウキモクヒョウ</small> 地球温暖化防止の中期目標	<p>2005年に発効した京都議定書において、我が国は、2008年から2012年の5年間（第一約束期間）に我が国の温室効果ガスの排出量を1990年比で6%削減することに合意しました。中期目標は、さらに2020年における温室効果ガスの削減目標で、日本の中期目標は1990年比で25%削減することを目指すというもの。</p> <p>京都議定書とは、1997年に京都で開催されたCOP3（気候変動枠組条約第3回締約国会議）において採択された議定書。二酸化炭素（CO2）など6種類の温室効果ガスを先進国全体で削減することを義務づけている。</p>	

区分	言葉	意味
夕行	チサン、チショウ 地産地消	地域生産地域消費の略語で、地域で生産された様々な生産物や資源（主に農産物や水産物）をその地域で消費すること。
	チホウキョウイクギョウセイ、ソシキ、オヨ、ウンエイ、カン、ホウリツ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律	日本の都道府県・市（特別区を含む）町村における教育行政を規定している法律。
	チホウ、ブンケン 地方分権	特に政治・行政において統治権を中央政府から地方政府に部分的、或いは全面的に移管すること。
	テイインテキセイ、カケイカク 定員適正化計画	平成17～22年度までの適正な職員数を定めた計画。
	テイタンソ、シャカイ 低炭素社会	二酸化炭素（CO2）の排出が半減された社会。
	トクテイケンシン、トクテイ、ホケン、シドウ 特定健診・特定保健指導	平成20年4月から、40歳以上75歳未満（年度途中で75歳に達する人を含む）の被保険者および被扶養者を対象として、メタボリックシンドローム（内臓脂肪型肥満）の予防・解消に重点をおいた、生活習慣病予防のための新しい健診・保健指導。 メタボリックシンドロームに加えて、高血糖、高血圧、脂質異常のうちいずれか2つ以上をあわせもった状態（内臓脂肪症候群）。
	トクテイコウレイシャ 特定高齢者	「生活機能が低下していて、介護が必要となる恐れのある虚弱な高齢者」のことで、具体的には、介護予防の観点から行われる健診などの結果、生活機能の低下が心配される人。
	トクテイ、ホイク 特定保育	パートタイム勤務や育児短時間勤務等、保護者の就労形態が多様化している中で、働き方に応じた保育サービス。
	トクベツカイケイ 特別会計	国および地方公共団体で、一般会計と区分して設けられた会計。
トクベツシエン、ガッコウ 特別支援学校	障害のある児童・生徒に対し、幼稚園・小学校・中学校・高等学校に準じる教育を行い、また、障害による困難を克服するために必要な知識・技能などを養うことを目的とする学校。	
ナ行	ナイスタイサク 内水対策	洪水時に河川の水位（外水）が上昇すると、堤内の排水ができなくなるため、内水を強制的に排水すること。
	ニホンコクユウテツドウ、シ、メ、コウギョウシヨ 日本国有鉄道志免鉱業所	糟屋炭田の炭鉱の一つ。志免炭鉱とも呼ばれる。採掘開始から閉山にいたるまで終始国営であった日本国内唯一の炭鉱として知られる。1964年（昭和39年）閉山。志免鉱業所 竪坑槽、斜坑口などの遺構が現在も残されている。竪坑槽は、平成21年12月8日に国の重要文化財に指定された。
	ニン、チショウ 認知症	成人後に脳に損傷を受けることによって認知機能が低下する状態。

区分	言葉	意味
ナ 行	ネット犯罪 <small>ハンザイ</small>	ネットワークを悪用した犯罪行為全般を指す。不正アクセス、インターネットを利用したソフトの海賊版販売、(ポルノ、禁止薬物、賭博など)有害情報の提供、インターネットでの無限連鎖講(ねずみ講)、詐欺行為などがある。国内外のテロ組織がネットワークを利用して起こすサイバーテロも懸念されている。
ハ 行	ハザードマップ	災害予測図。一定の時間内に、ある地域に災害をもたらす自然現象が発生する確率を図にしたもの。
	パブリックコメント	公的な機関が規則あるいは命令などの類のものを制定しようとするときに、広く公に(=パブリック)に意見・情報・改善案など(=コメント)を求める手続。
	ファシリテーション	会議、ミーティング等の場で、発言や参加を促したり、話の流れを整理したり、参加者の認識の一致を確認したりする行為で介入し、合意形成や相互理解をサポートすることにより、組織や参加者の活性化、協働を促進させる手法・技術・行為の総称。
	福岡県介護保険広域連合介護保険事業計画 <small>フクオカケンカイゴ ホケン コウイキレンゴウカイゴ ホケン ジギョウケイカク</small>	福岡県介護保険広域連合が、介護保険の円滑な実施や、介護サービス基盤の計画的な整備を進めるための計画。
	福岡県刑法犯市区町村別認知件数 <small>フクオカケンケイホウハン シ クチョウソンベツシン チ ケンスウ</small>	福岡県内の刑法に規定する罪の内、道路上の交通事故に係る罪を除いた法律に規定する罪を犯した件数を把握した福岡県警察データ。
	防災メールまもるくん <small>ボウサイ</small>	福岡県、福岡県内市町村から配信される 災害時の情報等のメール。
マ 行	まちづくり支援室 <small>シエン シツ</small>	志免町の町内会などの自治活動、ボランティア団体やNPOなどの各種公益団体の活動を支援する拠点。
	見守り隊 <small>ミマモ タイ</small>	通勤や通学、散歩、ウォーキング、ショッピング等、日常の生活のなかで、ワッペンや腕章等を着けて、まちを見守るボランティアの方々。
	民生・児童委員 <small>ミンセイ ジドウ イイン</small>	生活困窮者や高齢者、児童、心身障害者等の援護を必要としている方々の支援や、福祉事務所、子ども家庭相談センター等の関係機関に協力することや、また、生活福祉資金貸付金に関すること等を行う人。
	民生委員 <small>ミンセイ イイン</small>	社会福祉の増進に努めることを任務とし、要保護者の保護指導、地域住民の生活状況の把握、福祉施設の業務への協力などを行う民間の奉仕者。
ラ 行	リサイクル	製品化された物を再資源化し、新たな製品の原料として利用すること。
	緑地保全林地区 <small>リョクチ ホゼン リンチク</small>	市街化区域及びその周辺地域において、良好な自然環境を形成している緑地のうち、規則に定める基準に該当する樹林地を緑地保全林地区として指定している。
	老人福祉法 <small>ロウジン フクシ ホウ</small>	老人の福祉を図ることを目的とし、その心身の健康保持や生活の安定のために必要な措置について定める法律。
ワ 行	ワークライフバランス	「国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる」ことを指す。